

令和4年度第2回青少年ホーム運営委員会 会議録(要約)

1 日時

令和5年3月17日(金)18時45分から20時00分

2 場所

松本市なんなんひろば 会議室

3 出席者

奥山祈副委員長、小林宏安委員(オンライン出席)、手塚みきさん(二茅真由美委員代理出席)、天白英子委員、小澤美智子委員、勝亦達夫委員長

4 欠席者

千葉葵委員

5 事務局

石川生涯学習課長、永井青少年ホーム所長、小船井青少年ホーム主事

6 議事

令和4年度事業経過報告

意見交換

ア 若者向け事業の開催について

イ その他

7 意見

令和4年度事業経過報告について

- ・(奥山副委員長)8ページの若者カフェについては、存在は知ってはいましたが、使用はしたことはありません。ポケットWifiの借用はできないか等の検討をすればよいと思います。もっと全体及び利用者の会のサークルの方々に周知し、サークル会員が使用していただければ、利用が伸びると思います。
- ・(小船井主事)1階喫茶室の「ゆんたあく」が使用している備品を使わないでいただければ、利用は可能です。
- ・(小澤委員)周知が不足している気がします。塩尻市の「えんぱーく」では、大勢の高校生が見えているようです。
- ・(石川生涯学習課長)若い人たちは、オープンスペース等開放的な方が入りやすく、部屋だと入りづらい傾向があるようです。公民館の部屋貸出は、逆に年輩のサークルの方々の利用率が高いです。
- ・(勝亦委員長)施設の前に机・イスを並べてみると、若い人たちは寄り付きやすく、少し違ってくると思います。公民館の部屋貸出や若者カフェは、若者が知る機会がありますか。

- ・(小船井主事)ハタチの記念式典の中学校別記念写真を郵送する際、青少年ホーム全体の紹介チラシを同封していますが、他の課や内容のチラシも一緒に同封するので、あまり効果がないように感じます。

意見交換

ア 若者向け事業の開催について

- ・(勝亦委員長)松本市は、広報誌を見ても分かりますが、各課で沢山のイベントを開催していることは大変素晴らしいと思うのですが、イベントが多すぎて、どれを選択し参加すれば良いかの判断が、大変難しく感じます。情報を届けることの難しさを感じます。

小さなコミュニティが沢山あり、その中での情報交換をすることが重要と感じます。4月に、信州大学でも「信春祭」という新入生向けの文化祭を開催する予定で、様々なイベントをPRする絶好の機会になると思います。

- ・(奥山副委員長)利用者の会でもサークルを含め、インスタグラムを開設しており、利用者へのダイレクトメッセージで、参加希望者からメール連絡が来る仕組みになっています。
- ・(勝亦委員長)キャリア教育は、具体的にはどのようなものがありますか。
- ・(報告者)ヤングスクール講座の中で、職人の方々から学ぶ講座(料理やレザークラフト)を入れたり、ジョブカフェ信州の方にお世話になり、各期に1講座ずつ、キャリア関係の講座をお願いしていますが、参加者が少ないのが悩みです。
- ・(勝亦委員長)誰もが先生になり得るところが、良い点だと思います。今後も、受講者の視野、幅を広げるための講座を開催してほしいです。
- ・(小林業務部長)勝亦委員長の施設の前に机・イスを並べてみる発想は、素晴らしいと思います。

ハローワークでは、3月10日(金)にホテルブエナビスタにおいて企業説明会を開催し、76社が参加しましたが、参加学生の方々は38名でした。学生の方々からは、「相談会に参加するには交通費がかかる。」「オンライン相談会の方が、自分の部屋で聞くことができ、多くの情報も収集しやすい。」という意見をいただきました。ハローワークは遅れていると感じ、相談会の魅力をどう発信していくかが、大きな課題として残りました。SNSでの周知は、どのような内容で行うのがよいでしょうか。

- ・(勝亦委員長)信州大学では、「一方的なツール」多くの情報を発信し、学生が欲しい情報のみ選択できるようにするためのツールと、「個別のツール」学生のための具体的な受け皿を作るツールの2本立てで検討をしたいと思っています。